

「ふくしまで働く」は福島県内外に避難されている皆様や福島で働きたいと思われている方々に対して、就労、雇用の視点から福島県内外の支援策や求人情報等を発信するために厚生労働省福島労働局が発行している広報紙です。

特

集

- ・被災自治体首長からのメッセージ
- ・震災後のわが社「タニコー株式会社」

### 福島県雇用情勢(平成29年12月)

有効求人倍率(受理地別) 1.47倍(全国27位)  
(就業地別) 1.61倍(全国23位)

求人数は復興需要のピークアウトの影響はあるが、多くの業種で人手不足の状況が継続しているため高水準を維持し、仕事が探しやすい状況にあります。個別の求人は、全国のハローワーク、インターネットで検索ができます。

※有効求人倍率/ハローワークで仕事を探す人1人に対し、何人分の求人があるかを示す指標。1を上回っていれば、仕事を探す人より仕事の数が多いことになります。

## 復興にかける想い・避難されている方へのメッセージ



### 楡葉町

#### 松本幸英 町長

楡葉町をご存じでしょうか。

東に太平洋、西に阿武隈の山並み、清い水の流れる木戸川など、自然の美しさは自慢しきれない我が町ですが、今回はその話は割愛し、まっしぐらに復興へと向かう現在の町の様子をお話させていただきます。

楡葉町は平成27年9月の避難指示解除から2年半が過ぎようとしています。この間、町民の皆さんが安心して町に戻って来ることができるよう、関係各所から様々なご支援をいただきながら、医療、福祉、住居など生活環境の整備を全力で進めてきました。昨年春には念願であった小中学校とこども園を町内で再開することができ、やっと子どもたちの元気な声が町に響くようになりました。このことは町にとって非常に大きな出来事であり、本格的な復興に向けて大きな一歩を踏み出しました。

そして、今年は、町の中心部に整備を進めている「笑(えみ)ふるタウンならは」の商業施設と交流館がオープンするほか、夏にはサッカーの聖地「ヴィレッジ」の再始動も予定されています。新たな企業の進出も相次いでおり、今の楡葉町には復興への新しいエネルギーが満ちていることが感じられます。

町内の居住者は、昨年12月末現在で約2,200人、率にして約3割を超えたところですが、楡葉町は今年の3月に仮設住宅・借上げ住宅の供与期間が終了するという大きな節目を迎えるため、これを機に町民の帰郷が大きく進むものと期待しています。

東日本大震災から7年、これまで取り組んできました様々な復興事業によって芽吹いてきた「新生ならは」は、着実に成長しています。復興・創生期間として残された3年が、町の将来を決するとの覚悟をもって、町民の皆様はもとより、復旧・復興に携わる皆様のお力もお借りしながら、ともに美しい復興の花を咲かせたいと望んでおります。

ぜひ楡葉町を訪れ、震災からの復旧に留まらない、新しい町づくりにチャレンジしている姿を見ていただきたいと思います。そして、「新生ならはの創造」を実現するため、多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



### 葛尾村

#### 篠木弘 村長

葛尾村は一昨年6月に帰還困難区域を除く避難指示が解除されてから1年半が経過しました。私は、一昨年11月に村長の職を拝命し、その際に、

「住民の安全安心の確保」「医療福祉の充実」「教育と絆づくり」「産業の再生と働く場の確保」「人口対策」「帰還困難区域の対応」の6項目を重点事項に掲げ、全力で取り組んでまいりました。

中でも、買い物環境については、3店舗が村内で営業を再開され、村民の利便性が高まるとともに、周辺地域からも人が集まり、村に活気が出てきていると感じております。

また、ハード面では、復興交流館をはじめ、農業用倉庫や胡蝶蘭栽培施設、防災備蓄倉庫の整備など、拠点施設の整備が進んでおります。

ソフト面では、若者定住化対策として村独自に村内で生活する子どもに手当の支給、内科診療所の再開、「ツール・ド・かつらお」の開催、「かつらお感謝祭」の7年ぶりの復活、県外のニッパ社との誘致などを一つ一つ推進するとともに、幼稚園、小中学校については、平成30年4月から村内で再開できるよう準備と環境づくりに取り組んでおります。

さらに、村独自に繁殖素牛の導入やパイプハウス等の設置費用を助成するなど、より身近なところから営農再開してもらえる支援制度も設けたところであります。

特に、日本大学工学部との「ドローンを活用した葛尾村の復興まちづくりに関する協定」の締結をはじめとする大学との連携強化により、多くの学生が本村を訪れ協力していただけるようになりました。

このように、復興に向けて一歩一歩着実に進んでいる様子が、村民の皆様のご協力によって少しずつ目に見える形になってきております。

しかし、まだまだ課題は山積しており、本格的な復興はこれからが正念場です。

今後は、これらの取組みを継続、発展させていくとともに、本村の基幹産業である農業畜産について、意欲のある農家を支援し、県、JA、大学等との連携を図りながら、再生に全力を傾注してまいります。

また、帰還困難区域については、改正された福島復興再生特別措置法や基本方針に基づき、認定された区域で除染・家屋解体を行うこととされたことから、特定復興再生拠点区域復興再生計画を策定し、しっかりと対応してまいります。これからも国や県を始めとする関係機関の支援をいただきながら、チャレンジ精神で諸課題の一つ一つ真剣に丁寧に取り組んでまいります。

今、まさに先人が経験したことのない困難な状況が私たちの前に広がっています。この厳しい現状を乗り越えていく勇気を村民の皆様は持っているとは私は信じております。

村に帰還された方、まだ避難先での生活を続けざるを得ない方双方の思いをしっかりと受け止め、対応してまいります。

葛尾村の「未来への一歩!」を着実に歩むため、村民の皆様をはじめ、村の復興再生に携わっていただく皆様のなご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

# 福島雇用促進 支援事業

福島県と被災12市町村を主な会員とする**福島広域雇用促進支援協議会**が福島労働局からの委託を受けて避難者の帰還就労のために様々な事業を実施しております。

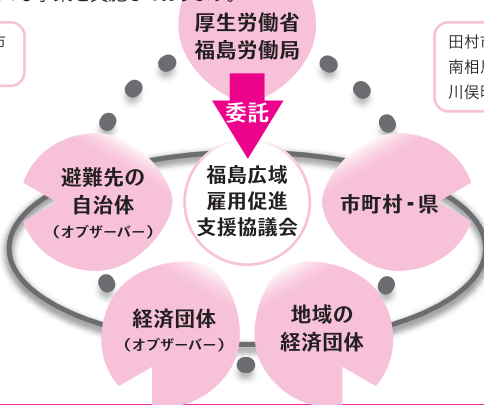
福島市 二本松市  
郡山市 新地町  
いわき市  
相馬市

田村市 広野町 川内村 浪江町  
南相馬市 檜葉町 大熊町 葛尾村  
川俣町 富岡町 双葉町 飯館村  
福島県

## 福島広域雇用 促進支援協議会とは

東日本大震災からの復興の一環として、雇用対策・就職支援の面から福島を支えていくために、福島県、被災12市町村、経済団体等で構成する団体で、平成25年度から福島労働局の福島雇用促進支援事業を受託しています。

福島県商工会  
連合会  
福島県商工会議所  
連合会  
福島県中小企業  
団体中央会  
福島県相双地方  
振興局



船引町商工会 広野町商工会  
常葉町商工会 檜葉町商工会  
都路町商工会 富岡町商工会  
大越町商工会 川内村商工会  
滝根町商工会 大熊町商工会  
原町商工会議所 双葉町商工会  
鹿島商工会 浪江町商工会  
小高商工会 葛尾村商工会  
川俣町商工会 飯館村商工会

## 就職への道!!

福島県 33歳 男性

### 求職者へのメッセージ

とても短期間で、採用面接まで行くことができたのも、協議会を利用したからだと思います。特に、「**自分再発見セミナー**」から「**合同就職面接会**」に参加し、「**職場体験 大人のインターンシップ**」を実施するという流れは、**就職に近づくチャンス**だと思います。この機会に、ぜひ皆さんも参加してみてください。自分で何かにチャレンジすることが、就職に繋がると思います。

### Step1

自分再発見セミナー

就職相談

### Step2

合同就職面接会

就職相談

### Step3

職場体験  
大人のインターンシップ

就職相談

### Step4

就職!!

2017年12月12日

このセミナーに興味を持ったのは、自分にはどのような仕事が入っているのかを知りたかったからです。何でもやる気になればできるのだろうけれど、「これだ!」と自信を持って言える特技もなく、**どのような職種に応募したらいいのか**わかりませんでした。

「**40代までの自分再発見セミナー**」に参加しましたが、**何事も挑戦していくことが大切**であることに気づくことができました。受講前は、自信が持てずにいましたが、受講したことで自分に合う仕事に応募してみよう、という気持ちになりました。予想もなかった研究職も適職の一つであるとなり、**未知の可能性を見つける**こともできました。

2017年12月12日

「自分再発見セミナー」を受講したことで、あらゆる職種の事業所に話をきいてみようという気持ちになり、合同就職面接会に参加しました。セミナーの結果を活用した就職活動ができました。

面接会では、**企業プレゼンのイベント**があり、**普段はきくことができない企業の魅力**を知りました。はじめは、興味がなかった職種でも、企業の話を書くことで仕事に魅力を感じました。特に、製品を展示しながらプレゼンをした企業は、**自分が働く姿をイメージしやすく**、「これを作るんだ!」と自分が就職したかのように、責任感も自然と湧いてきました。そのプレゼン内容をより詳しく聞くために、企業のブースに行って質問をしました。そして、**作業現場を見てみたい**と思い、面接会場で「**職場体験 大人のインターンシップ**」を申し込みました。

2017年12月20日

体験は、3日間でした。あらゆる作業に関わり、仕事内容について、詳しく教えて頂けました。これまで、デスクワークが多く、立ち仕事は**初めての体験**でしたので、体力的にきつく感じることもありましたが、しかし、「**自分にもできるのではないか**」という**自信**が湧いてきたのも事実です。体験した内容が、工場内の全ての作業に影響を与える、基礎づくり分野でした。非常に緊張しましたが、全ての基礎になるということで、責任を持って取り組むことができました。大変な作業ではありましたが、**それだけやりがいも感じられるだろう**、と**就職したあとのイメージが湧いて**きました。

2018年1月12日

職場体験を通して、ぜひ体験した事業所で働きたいと思ったので、応募しました。面接では、「自分再発見セミナー」で**見つけることができた自分の強み**を、面接官に伝えることができました。そして、「**職場体験**」で感じた**仕事への意気込み**や企業への貢献など、自分の気持ちを素直に話しました。その結果、**採用が決まりました**。

## 就職相談について

協議会のあらゆるイベントに参加し、採用面接への応募までたどり着くことができました。1ヶ月前は、**就職活動のスケジュール**さえも立てることができず、何から始めたらいいのかわかりませんでした。しかし、就職相談を通して、**就職活動の優先順位**や、自分に足りないものに**気づき**、適したイベントを紹介してもらうことができました。職場体験についても、事業所選択に**悩み**ましたが、**随時相談**によってくれました。電話相談、窓口相談、メール相談と自分に合った相談方法を選ぶのも、良い点だと思います。

## 就職相談

福島県内への就職相談はコチラへ!



電話相談

平日 9:00 ~ 12:00・13:00 ~ 16:30

専用フリーダイヤル **0120-810-650**



メール相談

**24時間受け付け中**

メール専用フォームはこちら →



窓口相談

**予約制** 上記フリーダイヤルにて承っております。

福島市中町4-20 みんなゆビル2F **☎**あり

平日 9:00 ~ 12:00・13:00 ~ 16:00

※出張窓口相談も随時開催しております。詳しくはお問い合わせください。

## お問い合わせ先等

福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口

TEL:024(524)2121 FAX:024(524)2125

檜葉窓口 0240(23)6290 浪江窓口 0243(24)9310

双葉窓口 0246(84)6285 田村窓口 0247(61)5585

南相馬窓口 0244(26)7690

## 職場体験実習事業

~大人のインターンシップはいかがですか?~  
あなたの「働きたい」を応援します!

こんな方にオススメです!

面接が苦手な方!  新しい仕事にチャレンジ!

★ 県内**400社**を超える事業所の中から選べます。

★ 実習期間 1日から3日 **1日だけ・見学だけでもOK!**

★ 雇用保険受給者には**参加証明書**を発行!

★ **参加無料!! 今すぐアクセス!!** →



福島県相双地域トライアルステイ事業と提携しております。

相双地域で就職を希望する方に、交通費の助成、宿泊等の支援をしております。詳しくはお問い合わせください。

ホームページアドレス  
<http://fkkoyou.net/>

働きたいネット  検索

フェイスブックもチェック!

<https://facebook.com/fkkoyou>



就職への  
One  
ステップ!





## 震災後のわが社 タニコー株式会社

### 【事業所紹介】

所在地：福島県南相馬市

事業内容：業務用厨房機器及び関連機器各種・移動型・据置型ステンレスタンク、ポルカプレート、システムキッチンの製造、販売、設計、施工、及び海外厨房機器の輸入販売。

### 「新たな成長を視野に入れた事業を」

弊社は、本社を東京都品川区におき、福島県内には南相馬市の福島鹿島第一工場、福島鹿島第二工場、福島原町工場、福島小高工場と、いわき市にいわき工場の5工場が稼動しております。

平成23年3月11日、東日本大震災が発生し、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、福島県内の5工場が一時閉鎖となりました。

旧警戒区域の小高区は東京電力福島第一原発から20キロ圏内、多くの企業が避難した土地で、区域再編から1年で小高工場の事業再開に向けて活動を開始しました。

「再編1年 地域復興 新生タニコー」を復活のテーマに掲げ、大きな被害を受けた小高工場の設備を一新、他の工場に避難させていた従業員を呼び戻して生産を再開しました。

再スタートの原動力は「地域復興 再生」「歴史あるタニコーの製造拠点を途絶えさせない」という従業員の強い意志でした。

再開するまでの道のりは険しく、小高工場では地震により完成品が倒壊、材料も崩れ落ち、外壁やガラスが割れて飛散し、エレベーターや、駐車場の一角も崩れました。さらに原発事故による混乱。周辺企業では、撤退、廃業、解雇などの噂が飛び交い、タニコーの従業員にも動揺が広がりました。しかし、震災の約一週間後に現地入りした弊社谷口社長が「全員の雇用を必ず守る。」と激励を掛けました。震災時から県内で指揮を執る弊社中野取締役は振り返る。この一言で社員の気持ちは落ち着いて、「頑張ろう」という気持ちになり、再開に向けて加速した。

その後、小高工場から県内の他工場に人員を振り分けるとともに、福井県大野市の工場へ、北海道岩見沢市の工場へ異動させ、再開までの雇用を守りました。

さらに、震災前は工場ごとに製作する製品が限定されており、それが震災により弱点として露呈してしまいましたが、生産ラインや技術者を異動することで繁忙期の受注に対応しました。こうした柔軟な対応はリスク分散、多品目製造、生産性向上という、震災後の「新生タニコー」の経営方針の基礎となりました。

小高工場には電熱機器が主要製造品だった元の姿ではなく、「新生タニコー」の中核を担う事を求められ、大型給食設備や医療品洗浄など、新事業対応のラインを

備えるとともに、全国の工場にステンレス材を供給する拠点の役割が設定されました。さらにふくしま産業復興企業立地補助金を活用し、設備を一新する計画をたてました。

平成24年4月16日、警戒区域が解除された小高工場のポールに社旗が掲げられました。国道六号線から旗を見つけ、工場の敷地に入ってくる人もいました。

「日本人は旗に敏感。『本当にやるの?』と聞かれ『やるんです。』って答えました。」と中野取締役は振り返る。「タニコーさんがやるなら、俺も頑張らねば。」と語る小高の事業者もいました。

小高工場の雇用については、震災前の弊社および関連会社の人員を取り戻すことが出来ました。希望を聞いて戻れる社員から移転先から呼び戻し、津波などで自宅を失った人には借家や仮設住宅を紹介し、また、人材確保の為、今春は福島県内の工場に多くの人材を採用し、震災前以上に人員を確保することが出来ました。

震災を振り返ると、他の企業なら別の地域に生産を移すという選択肢もあったかもしれない。しかし、タニコーは南相馬に深い「根っこ」がある。撤退はありえなかつたと感じています。小高工場の再開が、福島県という地域の復興にも繋がるとも信じている。

そして、地域とともに生きる地元企業だからこそ出来る取り組みで、地域の経済発展、地域貢献を踏まえ、地元企業の方や地方自治体と協力して復興を目指して行きたいと考えております。

これからも当社の事業発展と同時に、雇用の創出を始めとした地域復興に貢献したいと考えております。引き続き皆様のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



工場内



商品展示

## 保育士等就職フェア開催

開催  
日時

2018  
**3/8** 木  
13:30~16:00

開催  
場所

いわき市産業創造館「ラトブ」  
6F 企画展示ホール  
いわき市平字田町120



お問い合わせ先

ハローワーク平

TEL 0246-23-1421

主催：ハローワーク平、福島県、いわき市

HelloWork Internet Service

ハローワークインターネットサービス

🔍 求人情報検索

ホームページアドレス  
<https://www.hellowork.go.jp/>

全国のハローワークが受理した求人情報のうち、求人企業が当ホームページに掲載を希望している求人を検索することができます。

☑️事業所名や電話番号を閲覧できます。☑️求職登録すると閲覧できる情報が増えます



# 福島労働局からのお知らせ

## 富岡町に労働基準監督署とハローワークが戻ります

平成30年3月26日(月)から

富岡労働基準監督署とハローワーク富岡が富岡町(震災前の所在地)で業務を再開します

### 富岡労働基準監督署

〒979-1112 双葉郡富岡町中央2丁目104  
☎0240-22-3003(代表)

### ハローワーク富岡

〒979-1111 双葉郡富岡町大字小浜字大膳町109-1  
☎0240-22-3121(代表)

※広野サテライトは3月26日以降も継続しますが、  
雇用保険失業給付認定業務はハローワーク富岡で行います。

詳細は福島労働局ホームページをご覧ください。【お問い合わせ先】福島労働局総務課 ☎024-536-4601



### 福島労働局長よりあいさつ

震災から7年、避難先での業務を余儀なくされていた富岡労働基準監督署並びにハローワーク富岡が元の場所に戻り、業務を再開できることを嬉しく思います。

双葉郡(6町2村:広野町、檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、葛尾村)における労働行政の拠点として、引き続き、全力で、労働行政の面から復興支援を行ってまいります。

福島労働局長 島浦幸夫

# 求人アプリ「スタンバイ」に 福島県の求人が大集合!



地図で探せる!



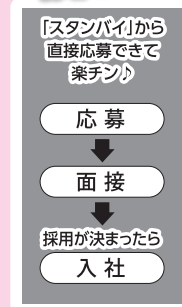
豊富な求人情報!



あなたに合った仕事が届く



スマホから応募できる!

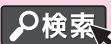


- 田村市
- 南相馬市
- 川俣町
- 広野町
- 檜葉町
- 富岡町
- 川内村
- 大熊町
- 双葉町
- 浪江町
- 葛尾村
- 飯舘村

アプリを使わず探すなら!▶▶



スタンバイ 福島



是非QRコードにスマホ・携帯をかざして求人情報をチェックしてください。

<https://stanby.jp> ▶TOPページ ▶「ふくしまで働こう!復興エリア求人特集」をクリック



福島県内で避難指示等の対象となった被災12市町村の事業者等の求人情報を特集し、地域内外の求職者の方々とのマッチングを支援します。

引越し代等をサポート ▶▶▶ 就職・転職にあたり、転居を伴う方には 転居支援制度があります!

※制度の利用には条件がございます。詳しくはご相談ください。

経済産業省委託事業 福島求人支援チーム応募事務局

事業運営会社:株式会社ビズリーチ

協力:厚生労働省福島労働局、公益社団法人 福島相双復興推進機構 (福島相双復興官民合同チーム)

「こんな求人ない?」「履歴書の書き方が分からない!」実際に面接に行きたい!など、まずは応募事務局へお気軽にお問い合わせください!

☎0120-910-195 受付 朝8時~夜8時 平日10~17時

E-mail info.fukushima@bizreach.co.jp (24時間受付)